

子どもの健康と環境に関する全国調査(エコチル調査)

論文概要の和文様式

雑誌における論文タイトル:

Serum 25-hydroxyvitamin D concentrations and atopic dermatitis in early childhood: Findings from the Japan Environment and Children's Study

和文タイトル:

2歳時点の血清中ビタミンD値(25(OH)D測定値)と3歳時点のアトピー性皮膚炎発症との関連

ユニットセンター(UC)等名: メディカルサポートセンター

サブユニットセンター(SUC)名:

発表雑誌名: Nutrients

年: 2021 DOI: 10.3390/nu13082761

筆頭著者名: 羊利敏

所属 UC 名: メディカルサポートセンター

目的:

本研究では、子どもの2歳時点の血清ビタミンD値(25(OH)D測定値)と3歳時点のアトピー性皮膚炎発症との関連を明らかにすることを目的とした。

方法:

エコチル調査参加者のうち、詳細調査の参加者を対象とし、2歳時点のデータと3歳時点のデータを用いて解析を行った。血清25(OH)D測定値は日照時間の影響から採血時期によって変動するため、季節を調整した血清25(OH)Dの測定値を算出し、ロジスティック回帰分析を用いて多変量解析を行った。

結果:

エコチル調査参加者のうち詳細調査に協力いただいた計4,378人の子どものデータを解析した。母の(既往の妊娠異常・分娩異常、アトピー性皮膚炎の既往歴、妊娠と産科合併症、BMI、年齢、学歴、早産、出産回数)、子どもの(性別、母乳、喫煙曝露、通園と2歳時点でのBMI)、家族の年収、ペット飼育を調整した多変量解析の結果、2歳時点の血清25(OH)D測定値、季節を調整した血清25(OH)D測定値ともに、3歳時点のアトピー性皮膚炎発症との関連は認められなかった。

考察(研究の限界を含める):

本研究では、エコチル調査の詳細調査のデータを用い、子どもの2歳時点の血清25(OH)D測定値と3歳時点のアトピー性皮膚炎発症は関連していないことを明らかにした。研究の限界としては、1)子どものアトピー性皮膚炎の診断は質問票から得られた情報であり、医師の診断ではない点、2)血清25(OH)Dの測定回数は一回だけだった点、3)統計モデルには重要な交絡因子(紫外線)を含めていなかった点、等が挙げられる。

結論:

4,378例のエコチル調査の詳細調査参加者の解析結果から、子どもの2歳時点の血清ビタミンD値(25(OH)D測定値)は3歳時点のアトピー性皮膚炎発症と関連がないことが分かった。